

さんがんじま

はんしょくち

三貫島オオミズナギドリ及びヒメクロウミツバメの繁殖地

国指定天然記念物 昭和 10 年 12 月 24 日指定



三貫島

三貫島は釜石港の北東 11km、御箱崎東南 1 kmの所にある暖帯性植物が茂る無人島で、オオミズナギドリ・ヒメクロウミツバメの繁殖地である。島はタブの木を主とした原生林的な趣があってこれら海鳥とともにクロコシジロウミツバメやウミウも繁殖していて、鳥類の楽園ともいべき良好な環境である。

オオミズナギドリはミズナギドリ科最大の海鳥で、背部は灰色、体の下面は純白、頭部は褐色の斑点があり、翼長 30cm 程である。



オオミズナギドリ

早朝未明に島を飛び立ち、太平洋で小魚等を求め、夕方日没頃に巣に戻るが、島に来るのは 2～3 月頃で、巣穴は径 20～30 cm、長さ 1～5m もある横穴で、6 月～7 月頃に巣穴の奥で産卵し、ひなを育て初冬の頃に一斉に島を去っていく。

ヒメクロウミツバメは、島の東端の岩場に営巣していて、巣穴は径 10cm 内外で、時にはオオミズナギドリの古巣を利用するといわれる。島には 5 月頃来て産卵し、10 月頃南へ去って行く。